

令和2年度

事業報告



幼保連携型認定こども園
上庄こども園

I、法人本部

1 所在地

福井県大野市稲郷43号5番地

2 実施事業

第二種社会福祉事業

①幼保連携型認定こども園の経営

上庄こども園(定員:1号児3名・2, 3号児87名)

②一時預かり事業の運営

3 本部の構成

理事 11名(理事長含む) 監事 3名

4 監査・理事会の開催

(理事会)

①	日 時	令和2年6月11日(木) 18時～
	議 題	議案第1号 令和元年度社会福祉法人上庄保育園事業報告について 議案第2号 令和元年度社会福祉法人上庄保育園保育所会計及び本部会計決算報告について 議案第3号 経理規程の改訂について
②	日 時	令和2年8月4日(金) 18時～
	議 題	議案第4号 固定資産(車庫・園バス)の取得について 議案第5号 令和2年度こども園会計第一次補正予算(案)について
③	日 時	令和3年1月15日(金) 18時～
	議 題	議案第6号 令和2年度上庄こども園第二次補正予算(案)について 議案第7号 給与規程の改訂(案)について 議案第8号 運営規程の変更(案)について
④	日 時	令和3年3月15日(月) 18時～
	議 題	議案第9号 役員責任賠償保険の契約について 議案第10号 令和2年度上庄こども園会計及び本部会計第三次補正予算(案)について 議案第11号 令和3年度上庄こども園保育計画(案)について 議案第12号 令和3年度上庄こども園会計及び本部会計当初予算(案)について 議案第13号 運営規程の変更(案)について

(評議員会)

①	日 時	書面決議 あったとみなされた日:令和2年6月19日(金)
	議 題	議案第 1号 令和元年度社会福祉法人上庄保育園事業報告について 議案第 2号 令和元年度社会福祉法人上庄保育園保育所会計及び本部会計決算報告について
②	日 時	令和2年8月21日(金) 18時30分～
	議 題	議案第 3号 固定資産(車庫・園バス)の取得について 議案第 4号 令和2年度こども園会計第一次補正予算(案)について
③	日 時	令和3年1月21日(木) 14時00分～
	議 題	議案第 5号 令和2年度こども園会計第二次補正予算(案)について
④	日 時	令和3年1月21日(木) 14時00分～
	議 題	議案第 6号 令和2年度上庄こども園会計及び本部会計第三次補正予算(案)について 議案第 7号 令和3年度上庄こども園保育計画(案)について 議案第 8号 令和3年度上庄こども園会計及び本部会計当初予算(案)について

(監事監査)

監事監査	前 期	令和2年11月5日(木) 18時～
	後 期	令和3年 5月14日(金) 18時～

5 評議員選任・解任委員会

①	日 時	令和2年1月23日(木) 午前9時～
	議 題	①評議員の選任について
②	日 時	令和3年1月19日(火) 午前10時～
	議 題	①評議員の選任について

① 児童福祉施設指導監査

日 時	書面監査(令和2年6月22日提出)
監査者	福井県地域福祉課(福祉指導監査G 黒田・嶋川)
指摘事項	なし
指導事項	なし

② 社会福祉法人指導監査

日 時	本年度は実施無し
監査者	
指摘事項	
指導事項	

※ 実習生・ボランティアの受け入れ

①実習生

名 前	学 校 名	実 習 期 間
竹下 晴香	仁愛女子短期大学	9/1～9/14
村崎 夏実	仁愛女子短期大学	9/1～9/15
吉島 千尋	東京家政大学短期大学部	8/17～9/2
牧野 紗耶香	福井県医療福祉専門学校	1/18～1/29

②中学生職場体験

※コロナ感染症の為中止

③小学生保育実習

※コロナ感染症の為中止

Ⅱ、上庄こども園



教育・保育理念

子ども達の人権や主体性を尊重し、「子どもの最善の利益」を常に最優先した教育と保育を実践し、保護者や地域と力を合わせて子ども達の幸せのために貢献できる法人を目指します。

上庄こども園 定員：40名 3月15日開園



教育・保育目標

つよいからだとうつくしいところをもつ子



教育・保育方針

- * 恵まれた環境の中で、一人ひとりを温かく大切に見守り、安定した生活や活動が出来るようにします。
- * 戸外遊びや園外保育の機会を多くし、自然に親しみながらたくましい体力づくりをします。
- * 様々な体験を通し、子どもの自発性や個性を尊重しながら感性豊かな子どもを育成します。
- * 全職員が全体の子どもに関わり合い、良いモデルとなって教育・保育を進めます。
- * 子育ての楽しさを実感してもらえるように保護者に十分な情報を提供します。
- * 地域に開かれたこども園を目指します。
- * 教育・保育内容を常に探求し、こども園職員としての資質向上に努めます。



研究テーマ

園と家庭が連携して生活リズムを安定させよう

～早起き ・ 早寝 ・ 朝ごはんから始めよう～

1. 職員構成

令和3年3月31日現在数（令和2年度新規採用者 0名 退職者 2名）

職 種	正規職員	非正規職員	嘱託・パート
園 長	1名		
主幹教諭	2名		
保育教諭	7名	7名	1名
調理員	1名	1名	1名
事務員	1名		1名
保育補助員			2名
合 計	12名	8名	5名

2. 児童受け入れ状況（定員1号児0名・2, 3号児100名）

1号児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	利用者無し												0

2・3号児	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短	標	短
0歳児(こも組)	1	0	2	0	3	0	4	1	4	1	5	1
1歳児(もも組)	11	3	11	3	11	3	12	3	12	3	12	3
2歳児(いちご組)	18	1	18	1	18	1	18	1	18	1	18	1
3歳児(れもん組)	13	3	13	3	13	3	13	3	13	3	13	3
4歳児(りんご組)	15	3	15	3	15	3	15	3	15	3	15	3
5歳児(あお組)	23	3	23	3	21	5	22	4	22	4	22	4
計	81	13	82	13	81	15	84	15	84	15	85	15
合計	94		95		96		99		99		100	

[illegible]

3. 延長保育事業利用状況(延べ人数)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
短時間	0	0	1	8	9	11	6	10	14	13	7	20	99
標準時間	0	0	10	20	20	10	10	8	19	10	10	19	136
計	0	0	11	28	29	21	16	18	33	23	17	39	235

4. 一時預かり保育事業利用状況(延べ人数)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
半日	0	0	10	1	1	0	0	0	8	1	0	0	21
全日	0	0	7	16	13	7	0	4	21	31	26	45	170

◎ 運営等についての自己評価

本年度は4月当初94名でスタートしましたが、途中入園児が6名(0歳児)あり、最終的に100名となりましたので、運営費収入においては当初予算より1,100万円の増額となりました。また、支出においても予算内で納めることができましたので、前年同様、積立預金(人件費積立)をすることができました。

施設設備整備においては中央競馬会よりいただいた補助金で園バスを購入し、同時に老朽化に伴う車庫の移設・建替を行いました。

半期ごとに行う監事監査においては特に指摘事項もなく良好であると認められました。これからも適正な運営に努めてまいりたいと思います。

◎ 保育についての自己評価

2年度は、緊急事態宣言が解除となる6月までは可能な限りの家庭保育をお願いし、その後もコロナ感染防止対策をその都度、理事長と相談しながら進めてまいりました。玄関での検温や手指の消毒、保育室に入る前等の手洗いを通して、自分の身体を病気から守る大切さを子ども達に伝えることを徹底しました。行事も例年通りに行う事はできませんでしたが、年長児を最優先に職員と話し合いながら方法を考え、その様子や普段の姿をホームページやクラス通信などでお知らせすることで保護者にご理解をいただきました。

2年度に力を入れていきたい内容として挙げさせて頂いた絵の具で描いて表現することについては、保育室のみならず園庭で描いたり、色画用紙で描いてみたり、子どもが好きな色を作ったりとより自由に楽しんで描く姿が見られました。中には2時間近くかけて1枚の絵を仕上げる子もいます。3年度も引き続き、絵の具での表現に力を入れていきます。

未就園の親子対象の園開放はコロナの関係もあって、1年を通してご利用が少ない結果になってしまいました。3年度は、親子で遊びに行きたくなる様な呼びかけや内容を更に考えて充実させていきたいと考えています。

5. 職員研修

No.	開催日	研修内容	場所	職種	参加
1	8・ 6	衛生講習会「食中毒について」	結とぴあ	調理員	1人
2	11・18	絵本研修「保育の中で絵本を生かす」	大野市図書館	保育教諭	1人
3	10・ 5	子育て支援研修	オンライン	支援員	1人
4	9・ 9	保健衛生・安全対策研修	産業会館	保育教諭	1人
5	9・14	乳児保育研修	産業会館	保育教諭	1人
6	9・23	保健衛生・安全対策研修	産業会館	保育教諭	1人
7	9・23	主幹保育教諭研修(前期)	オンライン	主幹保育教諭	1人
8	9・24	乳児保育研修	産業会館	保育教諭	1人
9	9・29	保健衛生・安全対策研修	産業会館	保育教諭	1人
10	9・29	乳児保育研修	産業会館	保育教諭	1人
11	9・30	保健衛生・安全対策研修	産業会館	保育教諭	1人
12	10・ 8	幼児教育研修	産業会館	保育教諭	1人
13	10・12	子育て支援研修	国際交流会館	支援員	1人
14	10・12	子育て支援研修	オンライン	支援員	1人
15	10・16	乳児保育研修	産業会館	保育教諭	1人
16	10・20	幼児教育研修	産業会館	保育教諭	1人
17	10・20	子育て支援研修	1/18～1/29	支援員	1人
18	11・ 8	子育て支援研修	国際交流会館	支援員	1人
19	10・26	子育て支援研修	オンライン	支援員	1人
20	11・ 2	主幹保育教諭研修(前期)	オンライン	主幹保育教諭	1人
21	11・ 4	保健衛生・安全対策研修	産業会館	保育教諭	1人
22	11・ 4	幼児教育から小学校教育への接続	オンライン	保育教諭	1人
23	11・10	幼児教育研修	産業会館	保育教諭	1人
24	11・17	幼児教育研修	産業会館	保育教諭	1人
25	11・28	主幹保育教諭研修(前期)	オンライン	主幹保育教諭	1人
26	12・ 9	障害児保育	産業会館	保育教諭	1人
27	12・10	障害児保育	産業会館	保育教諭	1人
28	12・16	障害児保育	産業会館	保育教諭	1人
29	12・15	保護者支援・子育て支援研修	産業会館	保育教諭	1人
30	12・17	保護者支援・子育て支援研修	産業会館	保育教諭	1人
31	12・18	主幹保育教諭研修(前期)	オンライン	主幹保育教諭	1人
32	12・22	保護者支援・子育て支援研修	産業会館	保育教諭	1人
33	2・ 3	主幹保育教諭研修(前期)	オンライン	主幹保育教諭	1人

6. 行事

月	日	行 事 内 容
		コロナ禍により行事を見合わせる  
		コロナ禍により行事を見合わせる  
	2 日 20 日 22 日	避難訓練 ふれ合い参観 お誕生会  
	2. 3 日 6 日 7 日 14 日 18 日 20 日 27 日	お泊り保育 避難訓練 七夕の集い（行事食バイキング） 流しソーメン① 夕涼み会 流しソーメン② お誕生会 
	3 日 4 日 6 日 24 日	避難訓練 ブルーベリー狩り 流しラーメン お誕生会 
	1 日 19 日 24 日 28 日	避難訓練 運動会（5歳児・4歳児） お月見の集い（行事食バイキング） お誕生会 

月	日	行 事 内 容
	1 日 3 日 9 日 10 日 13 日 22 日 23 日 31 日	内科検診 よさこい発表会 祖父母参観 運動会（3歳児・2歳児） 市内散策（七間・お清水・図書館等）・・・5歳児 修園旅行（芝政）・・・5歳児 お誕生会 ふれ合い参観（2歳児・1歳児・0歳児） 
	9 日 20 日	お誕生会 クリスマス点灯式 
	3 日 4 日 5 日 7 日 8 日 14 日 15 日 22 日	生活発表会（5歳児・1歳児・0歳児） 生活発表会（3歳児・2歳児） 生活発表会（5歳児・4歳児） 避難訓練 もちつき会 ケーキ作り お誕生会 クリスマス会（行事食バイキング） 
	6 日 18 日 19 日 22 日	初詣 避難訓練 雪像作り お誕生会 
	2 日 3 日 4 日 12 日 17 日 19 日 25 日	節分（豆まき） スポーツ教室参観（5歳児） 社会見学（ゆめお〜れ）・・・5歳児 チョコレート作り・・・5歳児 コンサートへ・・・5歳児 お誕生会 遊びハウス子どもと森へ・・・5歳児 
	1 日 2 日 3 日 5 日 8 日 11 日 16 日 26 日	避難訓練 雛祭り会 スポーツ教室参観（4歳児） 自由参観（2歳児） お誕生会 大道芸鑑賞 お別れ会 卒園式・親子お別れパーティー 

7. 各クラスの様子



あおぐみは、男の子11人、女の子15人の計26名のクラスです。人数も多くとても賑やかで、毎日元気いっぱい活気にあふれていました。当初はコロナ禍でお休みとなったため、全員が揃ったのは6月。久しぶりに会った子ども達は、みんな抱き合って喜んでいました。みんなで集まって遊びを楽しむことが何よりも嬉しそうで、友だちの大切さを実感したようです。遊びの中では自分たちでルールを確認し合ったり、変えたりして楽しむ様子も見られました。秘密基地作りやすごろく作りなど、グループによる共同製作では、みんなで意見を出し合い、相手の気持ちを考えを取り入れて作り上げる様子も見られました。また、色々な事に興味や関心を持ち、昆虫を捕まえて図鑑で調べたり、花や葉っぱなどで色水を作って色の変化を楽しんだり、自然に親しんで遊んでいました。また、廃材を使っの製作をととても好み、自分の作りたいものをいろんな素材を使って自由に表現して楽しんでいました。特に、ビー玉転がしや的当てなど、みんなで楽しめるものを作って遊び、改良してまた遊ぶ姿がよく見られました。縄跳び、コマ回しなど少し難しいことにもチャレンジし、練習を重ねて出来るようになったことで達成感を味わうことが出来ました。例年のように、こども園の顔として夏祭りや体育大会、敬老会など地区の行事への参加はできませんでしたが、運動会やよさこい発表会、生活発表会などでは、年長児としてしっかりと練習に取り組んでいました。練習時は友だちを励ましたり、認めたりしながらクラス全体で乗り越え、とても成長した姿を見せてくれました。個性が豊かで意見のぶつかり合いなどもたくさんありましたが、甘えたい時はたくさん甘え、やる時はやるという子ども達に成長し立派に卒園していききました。



お泊り保育
宝慶寺にて



ビー玉
転がし
でき



大野市



修園旅行



生活発表会

そりあそび



秘密基地づくり



池田町 子どもと森



りんご組は、男の子10人・女の子8人の元気いっぱいのクラスです。一人ひとりが何事に対しても積極的で活気があり、クラスみんながとても仲良しです。みんなで話し合っ、ルールを決めながら鬼ごっこやドロケ・ドッチボール等の遊びを楽しんでいます。時には友達と意見がぶつかってしまい、けんかになってしまいうこともありましたが、お互いの気持ちを伝え合っ、すぐに仲直りをしていました。クラス全体でコマ回しに挑戦すると、なかなかうまく出来ずに挫けてしまいうになる場面もありましたが、「やればできる!」とお互いに励まし合っ、練習する姿が印象的でした。うまく紐をコマに巻き付けることができなかった子も毎日コマを持ち、諦めることなくコマ回しに取り組んでいました。友達が頑張っている様子を見て、一緒に練習したり、誰か一人が回せるようになるとみんなで飛び上がっ、喜び合っ、いた子ども達。更に大きなコマを用意すると競い合うように練習をしていました。また、お別れ会に向けてのお店屋さんの品物作りでは子ども達が意見を出し合っ、イメージを膨らませながら製作を進めていました。「みんな喜んでくれるかな? 買ってくれるかな?」と話しながら一生懸命取り組み、絵を描くことが苦手だった子も大好きなキャラクターを思い出しながら工夫して描く姿も見られました。そして描いた絵に割り箸をつけてペープサートを作り、劇ごっこにも発展していました。また、折り紙にも興味を持ち、折り方の本を見ながら自分たちで作れるようにもなりました。分からない部分があると保育者や友達に聞いたり、困っている子がいたら「こうやってするんやよ。」と優しく声かけしている姿も見られました。小さい子に対しても、しゃがみ込み目線を合わせて話しかけたり、泣いている子がいると頭をなでてあげたりと、思いやりをもって関わる事が出来る様になり、あお組になる為の準備もバッチリな子ども達です。



ちよっと
ひとやすみ。



ザリガニ釣れるか
な??

どう?
美味しい?



みんな回せるように
なったよ!



バルーン楽しかったね



僕たちは
パン三世☆



みんなの
ことが
好きだっ♡



れもんぐみは、男の子5人、女の子11人、合わせて16人の明るくて元気いっぱいクラスです。春はコロナウイルス感染予防で登園自粛をお願いしたため、なかなか全員が揃うことはありませんでした。5月後半に全員が揃ってからは一年を通してあまりお休みもなく、にぎやかな声がクラスに響き渡りました。室内でも園庭でも、ごっこ遊びが大好きな女の子は、自分たちで考えた一人ひとりの役があって、まるで本当の家族のような会話が聞かれました。(ご家族の会話をよく聞いているんですね)しかし、自分の思いを主張し過ぎて友だちとトラブルになり泣いてしまう子もいます。そんな時に「どうしたの?」と優しく声をかけてくれる子も増えてきました。男の子は人数が少ないですが、一人ひとりの個性が強くて自分がしたいことも、しっかりと言葉で伝えられるようになりました。中には恥ずかしそうにしている子もいますが、周りの友だちの励ましにより自分を少しずつ出せるようになってきました。

活動の中では、簡単なルールのある遊びがとても盛り上がりました。友だちに負けたくないという強い心が見えたり、失敗したり負けたりすると悔しがって泣いたこともありましたが、我慢することもできるようになってきました。最後まで諦めないで頑張ろうとする子ども達の姿には、たくましさも感じられました。散歩に出かけて、おたまじゃくしやカタツムリを捕まえてくると、自分たちでお世話をしようと給食室から野菜をもらい、虫かごの中での成長を見守りました。また、戴いたザリガニを大切にお世話をすることで、なんと卵が産まれ小さなザリガニが誕生しました。子ども達は大喜びで、エサをあげたり水替えの手伝いもしてくれました。日々の様々な経験を通して、生物の命の大切さや尊さを感じ取り、大きくたくましく成長した一年になりました。



おたまじゃくし、みつけ！！



夏ならではの遊び♪ 大きなプールで泳いだり、ボディーペインティングをしたよ☆



みんなで頑張った発表会😊



ジャンボカルタや魚釣り、リレーは、みんなで盛り上がったね😊



今年は大雪でしたも



いちごぐみは、男の子10名、女の子9名合わせて19名の元気な子ども達です。4月には、既に布パンツで過ごす子が2名いて、その刺激を受けながらトイレトレーニングも進み、夏頃には半数の子が・・・そして3月には、ほとんどの子が布パンツに移行できました。春には体力の差があり園周辺を散歩をすることがやっとの思いでしたが、年度後半には1つ大きいれもんぐみと散歩に行ったり、どんぐり広場まで歩いて行けるようになりました。また、園庭でままごとをするのが大好きで、草花や虫を見つけるのが得意な子がたくさんいました。夏には泥んこやプール遊びを十分楽しみ、こんがり日焼けしてたくましく見えました。秋には食欲も増し給食はほぼ毎日完食してお替りをする子が増えました。どんぐりや枝などを拾って大事にお家に持って帰る姿も見られました。発表会では、てぶくろの劇ごっこを演じ、「入れて」「いいよ」の台詞が、日々の生活やごっこ遊びの中でもたくさん聞かれました。冬は毎日雪遊びを楽しむことが出来て、スキーウェアの着替えも徐々に早くなり、出来ない所を少し援助するだけで上手に着替えられるようになりました。大きい子と一緒に並んで雪山からそりで滑ったり、スコップを片手に新雪に突き進んでいくちびっこ探検隊のごとく存分に楽しむ姿が見られました。たくさん食べ、たくさん遊ぶ中で風邪をひく子が少なく健康に過ごせたのは、感染症予防のための手洗い・うがいをしっかり自分で出来るようになったことが大きかったです。また、誕生日を迎えハッピーメニューについてきたお箸で一生懸命食べようとする姿に成長を感じました。身の回りの片付けが少しずつ出来るようになり、言葉が増え友だちとの関りを通して、自分の思いを伝えられるようになり、心も体もぐんと大きくなり子ども同士で好きな遊びを存分に楽しめるようになった子ども達です。



春



夏



秋



冬





ももぐみは男の子11人、女の子3人の計14人のクラスです。最初は、まだ自分の思いを言葉にして伝える事が出来ずトラブルもありましたが、少しずつ片言やジェスチャーで伝えられるようになったことでおもちゃの貸し借りが出来るようになり、子ども同士の関わりが深まる中で簡単なごっこ遊びも楽しめるようになって来ました。また絵本や紙芝居が大好きな子どもたちは、お気に入りの絵本を持って来て、競い合うように「読んで！」と保育者の膝を取り合ったり、午睡の前に絵本を読んであげることで安心して眠れるようになりました。子どもたちにとって1対1で読んであげられる環境が安定した睡眠に繋がる事だと考え、絵本の読み聞かせを大切にしました。給食については、スプーンやフォークを使って食べられるようになり、苦手な食材は予め量を調整することで、全部食べられたという満足感が味わえるようにしたり、「おいしいね！」と声を掛けながら楽しい給食の時間になるように心掛けてきました。着脱や排泄について早い時期から興味を持ち、自分でやりたいという気持ちが強く、「自分で！」と言いながらオムツやズボンを履いたり、出来ない時は何度も挑戦し最後まで諦めずに頑張っていました。この一年、「できるかな？」を合言葉に色々な事にチャレンジしてきた子どもたちは、生活ばかりではなく遊びの場でもお友だちと手をつないで海洋センターまで散歩に出かけたり、粘土遊びやお絵描きも手や指先を使って思い切り楽しんでいました。積み木やブロックなどは数人が集まって考えたり、個々が作った物を組み合わせて大きな家や恐竜を作るなど、少しずつ友だちの存在を意識して我慢したり譲り合ったりしながら遊べるようになってきました。言葉が出始めてから会話へと発展し、言葉を通して自分の気持ちを伝えることに喜びを感じるようになり、友だち同士の関わりが深まっていきました。

なかよし農園で何作ろう？



なにかいるのかな？



つめた〜い！



給食 おいしいよ！



おちばであそぼう！



とれたてのキュウリは
おいしいね。



たのしいことがいっぱい！



発表会 がんばったよ



サンタさん ありがとう！



大きなタイヤ！きもちいいね。



おには〜そと！ふくは〜うち！



はじめてのえのぐだよ！



4月進級児1名(女の子)新入児1名(男の子)の2名でスタートしたこももぐみです。その後ひとり、ふたりと新入児が入って来る度にみんなが不安で泣いて・・・そして慣れてを繰り返してきましたが、夏が終わる頃には途中入園児もすっかり慣れて可愛い笑顔をたくさん見せてくれるようになりました。

子ども達の好きな外遊びは、砂場と滑り台です。砂場では、砂を口に入れないかとハラハラする私たちをよそに、砂の上に座り込み砂を握っては離し感触を楽しんでいます。滑り台は上からはまだ無理ですが手を添えて途中から滑らせてあげるとに笑顔を見せ、“もっと”と要求してきました。

室内では、音の出る玩具や絵本、自動車などを好んでいます。絵本は、それぞれにお気に入りのものがあり「読んで」と、持ってきて保育者の膝の上に座って繰り返し見えています。月齢の大きい子は、絵本の中の言葉を一緒に声に出して言ったり、それに動きを付けたりしながら楽しんでいました。。

食事では、離乳食から普通食になり好き嫌いも出てきましたが、手づかみやフォークを使って自分で食べるようになってきました。また、食器が動かないように手を添えたり、お茶碗を持って食べることも少しずつ出来るようになってきました。午前寝が必要だった子も時間が短くなったり必要がなくなったりして、午前中体を動かして遊ぶ時間が増えてきて、しっかりと遊んだ後の午睡はぐっすりと出来る様になりました。

人見知りが激しくなってきた子が担任以外の姿を見て泣くことや、友だちとのおもちゃの取り合いも見られるようになってきましたが、成長の証と喜びながら怪我がないように見守っていきたいと思っています。

はる



なつ



あき



ふゆ



おおきくなりました



今年度はスタートから『例年通り』が通用しない事ばかりで、『期待膨らむスタート』というよりも、『不安やとまどい』から始まり、給食の提供も、登園自粛をお願いしていた期間中は食数の変動が続き、食材の調整がうまくいかず残食を多く出してしまう事もありました。行事食では、『できる限り例年に近いやり方を維持しながらも、その時々状況に合わせ、どうすると子ども達に喜んでもらえるか』を、職員が知恵を絞りながら提供してきました。冬には一時大量に降った雪のため、食材が入荷せず、在庫の物を代用したり、商品が残っているという情報が入った店に買いに行ったり、ネットを取り寄せるなど、給食室以外の力を沢山借りることで乗り越えることができました。

★子どもの日ランチプレート

本来は4月下旬にバイキングを行う予定でしたが、登園自粛期間中だった為、日を延期し6月上旬に1人ずつのワンプレートで会食を楽しみました。



★流しそうめん

状況も落ち着いてきたので開催することができました。
「いっぱい食べるぞ！」

★餅つき

餅をつく子も、それを見守る子も、マスクを着けての餅つき。例年なら、2歳児～5歳児までが広場に集まり、大きな声で声援を送るのですが、今年度は、クラスごとに離れた所からそっと声援を送りました。



★ひな祭りバイキング



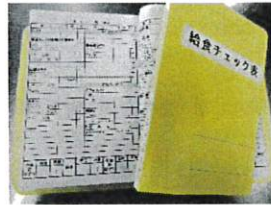
いちごぐみが、例年よりもちょっと遅いバイキングデビューをしました。
(会場の雰囲気にもちょっと圧倒されていたみたいです)



アレルギー食

当園では除去食ではなく、栄養はもちろん視覚的にもなるべく普通食と同じになる様に工夫をしながら代替食を提供しています。アレルギーの食事制限については、家庭でも行っていることを前提に、医師の診断書を元に園と家庭で協力し合いながら進めています。(令和2年度は、7名の卵アレルギーや小麦アレルギーを持つお子さんの対応をさせていただきました)

代替食が必要となるお子さんには、毎月給食とおやつの変更メニューや食材が書かれたアレルギーチェック表のファイルをお渡しします。内容に誤りがないかを確認してもらい、園に提出をお願いしています。



給食が出来上がって子どもが口にするまでに3回のチェックを行います。

- ①調理担当者(2名)
 - ②検食者
 - ③担任
- (チェック表に照らし合わせて確認を行い間違いがないことを確認します)

♡代替食例



普通食

「ちくわの天ぷら」の代わりに「豆腐のあんかけ」にしました

「うどん」の代わりに「ビーフン」を使っています



小麦アレルギーの代替え食(離乳食)

ハッピーメニュー

年に1回の誕生日という特別な日のプレートメニューです。子ども達に喜んでもらえる様に毎年プレート皿やメニュー、手づくりクッキーを変えています。本年度はみんなが大好きなミッキーマウスのおにぎりと、可愛いサンドイッチを置いてみました。ハムやウインナーについているピックもミッキーになっています。(喜んでくれるとうれしいな～♡)



お米当番

5歳児(あお組)には、お部屋で食べるお米を研いでもらっています。(今年の子も達も一生懸命、上手に研いてくれますよ😊)



8. 行事の様子

夕涼み会



例年のような夕涼み会を行うことが出来なかった本年度は、7月18日(土)の午前中に、浴衣や甚平を着た年長児(あお組)が「お祭り広場」と称して、縁日ごっこを楽しみました。保育室や広場には、大好きな魚釣りや輪投げ、ボーリングや射的、サイコロゲームのお店があり、時々ポップコーンを食べて休憩をしながら、お友だちと一緒に何回も好きなゲーム屋さんで遊ぶことが出来ました。また、例年やぐらの上で踊っていた踊りも、今年はステージの上で踊ってお迎えに来たお家の人に見てもらいました。ステージにはサプライズでアンパンマンも登場し大喜びでした。他のクラスの子ども達も次の週に同じゲーム屋さんで遊びました。年長児が「ここが楽しいよ」と案内してくれて一緒に遊ぶ姿が微笑ましかったです。帰りには、風船やお面などのお土産をもらってお祭り気分を楽しんでいました。

運動会



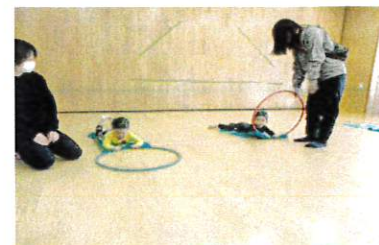
4, 5歳



2, 3歳



0, 1歳



コロナ禍の中、9月19日にあお・りんごぐみ、10月10日にれもん・いちごぐみの運動会、10月31日にもも・こもぐみのミニ運動会を行いました。2クラスずつ行う事でお家の方もソーシャルディスタンスを保ちながら、応援することが出来ました。たくさん練習をしたあおぐみの組体操は、今年もすばらしく特に本番が一番の出来となり子ども達の誇らしげな顔が見られ、ラスごとの競技では、年齢に合わせた競技が繰り広げられ子ども達の元気いっぱいの姿が見られました。また異年齢でのマ스ゲームでは、可愛い振り付けで踊る姿をお家の方の前で披露してたくさんの拍手をもらっていました。あお組の組体操は、後日祖父母参観にておじいちゃんやおばあちゃんにも見ていただき大きな拍手をもらいました。

生活発表会



生活発表会は、12月3日が0、1歳児と5歳児の1回目、4日は2、3歳児、5日は4歳児と5歳児の2回目と分けて行いました。年齢別に1時間程度とさせていただき、保護者の方には検温、手指の消毒と換気とマスク着用のご協力をお願いしました。例年のようにすべての演目を全員の保護者の方に見て頂くことが叶わずに申し訳なく思います。しかし子ども達は、客席の保護者の顔をすぐに見つけることができ、笑顔で手を振る姿もありました。小さいクラスは普段の生活の様子や保育者とのやり取りの様子、大きいクラスは練習を重ねた役になり切って演じる姿を見ていただき、職員が手作りした衣装も良かったと保護者からの感想もいただきました。これからも子どもの発達に合った表現の方法や内容を考えながら、1年間の成長を保護者の方に見ていただく行事となる様に努めていきたいと思っています。

9. 園内施設修繕・整備・機器購入



【車庫建設】



【築山移設】



【園バス入替】



【空気清浄機（小）購入】



【空気清浄機（大）購入】

